

平成 25 年度末における「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」の進捗状況について

1 上下水道基本計画改定計画の進行管理について

- ・ 上下水道基本計画改定計画（以下、「改定計画」という。）においては、その具体的な進行管理の手法を計画中に明示していませんが、計画の策定過程において、「進行管理に係る指標の充実」を掲げたところです。また、「より実効性を高める計画とするため」に、12の基本施策に加えて、28の基本事業にも指標を設定しています。
- ・ 今回、「改定計画」を着実に推進するとともに、その進捗状況をお客様に報告するため、各年度の決算が確定した後に、計画に掲げた指標の進捗状況やその評価などについて整理を行い、公表することといたしました。
- ・ なお、この進捗状況や評価などを、毎年度見直しを行う改定計画の実施計画の策定や予算編成に活用していきます。

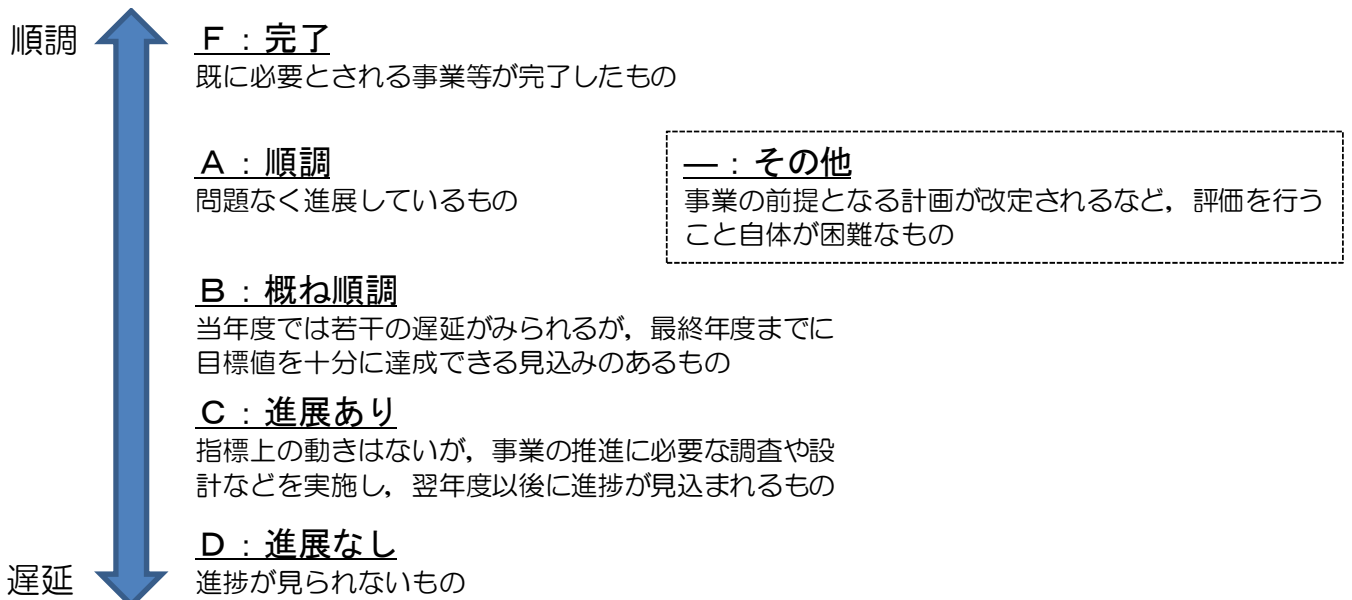
2 評価の手法について

(1) 評価の手法

- ・ 年度ごとの評価については、指標の推移を軸に評価するものとしませんが、設定した指標の評価尺度がさまざまであるため、各指標を主管する課による主観的評価を基本とします。
- ・ ただし、局内での調整に加えて、上下水道事業懇話会での意見聴取などを経て、最終的な評価を確定する形を採ることにより、一定の客観性確保に努めていきます。

(2) 評価の基準

- ・ 評価の基準については、以下のとおりとします。

3 平成 25 年度末における「改定計画」の進捗状況及び評価について 別紙参照

(1) 基本施策について

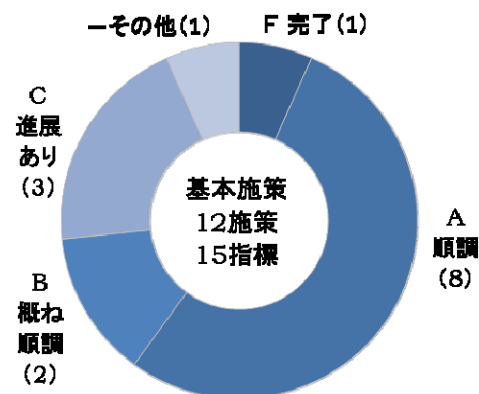
12の基本施策については、それらの進捗を測るために、15の指標を設定しています。

このうち、「合流式下水道緊急改善率」（基本施策 2-2）が目標値を達成した「F：完了」となったほか、8指標で「A：順調」、2指標で「B：概ね順調」の評価となっています。

一方、「重点8排水区雨水幹線整備率」（基本施策 2-2）、「有収率（下水道）」（基本施策 2-3）、「基幹施設建築物の耐震化工事着手率」（基本施策 3-2）の3指標については、設計や調査など、事業を進める上での取組を実施したものの、指標の上では進展が見られないことから、「C：進展あり」と評価しました。

なお、「D：進展なし」と評価される指標はありませんでした。

このほか、「お客様満足度」（基本施策 5-1, 5-3）については、評価に用いていた市政世論調査の調査項目が変更となったことから、評価の実施を見送り「-：その他」としました。今後適切な評価を実施できるよう、平成26年度には評価のための調査のしくみを構築しています。



(2) 基本事業について

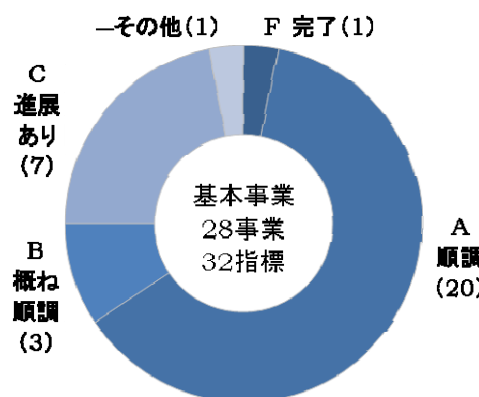
基本施策の下で28の基本事業には、32の指標を設定しています。

基本施策と同様に、合流式下水道に係る「貯留施設設置数」（基本事業 2-1- (3)）が「F：完了」となったほか、計画の柱1・3・6を中心に、20指標で「A：順調」に、また、3指標で「B：概ね順調」の評価となっています。

「C：進展あり」とした7指標は、いずれも、平成25年度に事業の実施に向けた事前調査や設計、計画の改定などを実施しており、今回は指標上の進捗が確認できないものの、計画期間中に目標値の達成に向けた進捗が期待できる状況となっています。

なお、基本事業においても、「D：進展なし」と評価される指標はありませんでした。

「-：その他」の1指標は、評価のための調査が実施できていない「広報紙閲読率」（基本事業 5-1- (1)・(3)）ですが、こちらも適切な評価ができるよう、既に評価のための調査のしくみを構築しています。



(3) 総括

以上の基本施策、基本事業の指標値の推移から、改定計画の平成25年度末時点での評価をまとめると、いずれの指標についても、ほぼ4分の3において「A：順調」または「B：概ね順調」という評価となったことから、計画全般としての進捗状況は良好なものと判断しています。

また、残りの基本施策・基本事業についても、「D：進展なし」と評価される項目がなく、今後の計画期間中に進捗が期待できるものと見込んでいます。

ただし一部では、取組の上で一定の進捗が見られたものの、それが実績値の上昇に結びついていない指標も存在することから、これらについては施策・事業の見直しなどを検討しながら、より効果的な取組となるように努めていきます。

また、前提となる計画の改定などが実施された指標については、今後見直しを検討していきます。